

平成20年 5月15日
東京電力株式会社

申請期限の延期理由について

1. 申請期限の延期について

申請期限を平成20年5月15日から平成20年12月16日まで延期。

2. 調査の遅延理由について

作業用トンネルにおける経年劣化箇所への補修工事の実施

資材搬入及び給排水管・電線ルートとして利用を予定していた既設作業用トンネルについて、坑内を調査した結果、岩盤の崩落が激しかったため安全確保の補修工事を実施したことから遅延が生じました。

想定を上回る厳冬下での調整池の結氷

今冬は昨冬に比べて厳冬であり、調整池の結氷が激しく（最大厚30cm）資機材運搬やセメント注入に伴う調整池の中和処理を行う作業船の航行に支障をきたしました。日々、砕氷して対応したものの2月の進捗に多大な影響が生じました。

当初計画を上回るセメント注入量の発生

注入初期段階において、八汐調整池の主に上流域において、標高1,020m以上の高標高部で当初想定を大幅に上回る大量注入箇所が多数発生しました。

【調査進捗率】

平成20年5月12日時点における調査進捗率は約60%であります。

3. 発電運用水位での諸調査の実施について

塩原発電所八汐ダム調整池の調査においては、低水位での調査のみを計画していましたが、これまでに現在の調査中水位（標高：1,016～1,022m）より高標高箇所での大量のセメント注入が確認されたことも考え併せると、発電運用水位（標高：1,028～1,048m）での正確なデータの収集と科学的根拠に基づく解析が必要不可欠であります。

このため、テストグラウト終了後、貯留量に応じて、最低水位（標高：1,028m）平常時水位（標高：1,038m）、常時満水位（標高：1,048m）において水位保持を行い、減水深、地下水位等の計測を行い、データの整理・分析を行うこととします。

4. 今後の実施内容について

現在実施している調査につきましては、平成20年8月には終了する予定としており、10月までの間で前記3に示す発電運用水位での諸調査を実施したいと考えています。これらの調査データを踏まえながら、是正計画（止水対策）を作成しますが、是正計画内容につきましては、並行して社外委員会における審議や関係機関からの指導を受けたいと思っておりますので、これらの期間を考慮して申請期限を平成20年12月16日といたしました。

以上